

## 現在～将来、妊娠を考えている循環器疾患をお持ちの女性へ

### 妊娠前カウンセリング（プレコンセプションカウンセリング）

妊娠前に自分の身体やことを知り、将来の妊娠に対して準備をしておくことは大切なことです。現在、妊娠を考えている女性も、妊娠・出産による身体の変化やお腹の赤ちゃんのことを理解し、身体・心理的だけでなく社会的にも準備を整えていくことが、より安全安心な妊娠・出産につながります。女性だけでなく、パートナーやご家族と情報を共有することで、より具体的にイメージできるようになります。

また、予期せぬ妊娠を避け、自分がどのような人生を送っていきたいか、ライフプランを考える上で役立てていただけるようにと願いつつ、カウンセリングを行っています

#### 【カウンセリングの概要】

##### ■ 今のご自身の身体やことろの状態

##### ■ 妊娠出産に伴う母体の生理的な循環器系への変化

妊娠すると、女性の身体には大きな変化が生じます。妊娠週数に伴った変化や分娩時、分娩後の流れの中で、女性の身体、特に心臓や血管がどのように適応しているかお話しします。

##### ■ 循環器疾患への影響と合併症について

妊娠出産による変化等により、心臓や血管に大きな負担がかかったときに、どのようなことが起こる可能性があるのかお話しします。カウンセリング受けに来られた女性がお持ちの循環器疾患に応じて、検査はどれくらいの頻度でおこなうのか、どのような分娩方法が想定されるかについても情報を提供します。また、それぞれの女性で生活習慣や社会環境も異なりますので、お話を伺いながらカウンセリングを行います。

##### ■ 産科合併症について

妊娠に特有の病気について情報提供を行います。

##### ■ 児の合併症について

内服されているお薬の影響などについてもカウンセリングを行います。

##### ■ 授乳について

##### ■ 家族のサポート体制の重要性や地域の子育て支援について

妊娠中だけでなく、出産や育児においても女性には身体的、精神的な負担が大きく、女性が健康を維持するために、ご家族や地域の長期的な支援が大切です。また男性にとっても、パートナーの妊娠や出産、新しい家族の誕生の中で役割が変化します。妊娠前から、パートナーやご家族と理解を共有し相談することや、地域の支援体制について知っておくことも、安心した妊娠・出産、育児にも繋がります。

##### ■ 妊娠・出産による長期的な影響について

妊娠・出産は、女性の身体にとって「負荷テスト」と呼ばれます。循環器疾患をお持ちの女性では、妊娠・出産に伴う心臓への負荷が、出産後の長期間にわたり影響するケースもあります。

循環器疾患をお持ちの女性の中には、リスクが高い妊娠・出産となる場合があります、妊娠中や出産後に循環器疾患が悪化したり、新たな疾患が出現したりすることがあります。

その結果、流産や早産、お腹の中の赤ちゃんの状態が悪化する場合、育児を行うことが困難になることもあります。

カップルのそれぞれが育ってきた環境や現在の立ち位置、周囲との関係も様々です。

その中で、妊娠・出産、育児について不安や心配に思っていること、考えていること、知りたい内容も様々です。

カウンセリングを通じて、一人ひとりの女性が自らの健康について考え、パートナーや家族と思いを共有し、選択できることを願っています。

現在、もしくは将来もお子さんを望まない女性においては、ご希望に応じて心臓の病気への影響を考慮した避妊方法の提案を行っています。